

専門科目試験問題

次の問題 A、問題 B をそれぞれの指示にしたがって解答すること。

解答には必ず所定の解答用紙を用いること

専門科目試験問題

問題 A.

受験票に記載した予定履修分野に関する問題から 1問を選んで、所定の解答用紙に 日本語もしくは英語 で解答しなさい。

履修分野 I

1. 文学批評家テリー・イーグルトンは、『新版 文学とは何か—現代批評理論への招待』(大橋洋一訳、岩波書店、1997年)の中で次のように述べている—「あらゆるエクリチュールのつねとして、文学作品の明察は、それがかかえる死 角 と深い関係にある。作品が語っていないこと、および作品がいかにしてそれを語らないでいるかということは、作品が分節化していることに劣らず重要だということもある。書かれていないこと、周辺的で、両面価値的だと思われるものが、作品の意味を理解する鍵を提供するかもしれないのだ。」(274頁) この見解を踏まえて、具体的な文学作品を例にあげて、その「明察」と「死 角」の関係性について考察しなさい。
2. 新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、環境保護運動、反戦・平和運動、住民運動や消費者運動、格差是正を求める運動などの社会運動の形態変化を促進した。集会やデモ、街頭での署名運動や募金活動に代わり、オンライン署名やハッシュタグ・アクティビズム、クラウド・ファンディングなど、ソーシャル・メディアを用いた意見表明、情報発信と交換、コミュニケーションが一般化している。ソーシャル・メディアが社会運動に与えた影響について、具体例をあげ、言語と思想あるいは言語と情報の関係、世論の形成という観点から論じなさい。
3. 1950年代から現在にいたるまで、多数の少女マンガにおいて「男装の少女」(押山美知子『少女マンガジェンダー表象論』、彩流社、2007年)が主人公となったことの意義を、具体例をあげつつ、ジェンダーの観点から論じなさい。
4. 過去において王侯貴族など芸術の庇護者が芸術作品の創作に大きな影響を及ぼしていたことは多くの絵画や文学作品からも明らかである。現代の芸術においては、主にだれ(どこ)が出資し、またそれは創作にどのような影響を及ぼしているか、過去の具体的な作品と比較しながら、出資者と芸術家、さらにその作品との関係を論じなさい。

履修分野 II

5. 以下のように、「～のようなもの」「～みたいなもの」という表現がある。
 - (1) この電車は急行のようなものだ。
 - (2) あの人には学生みたいなものだ。
 - (3) 犯人はバールのようなものでシャッターをこじ開け、紐のようなもので被害者の首を絞めた。
 - (4) 人間なんて皆、愚かな動物みたいなものだ。

(1)や(2)の場合、指し示す「電車」や「人」は実際には「急行」や「学生」ではない。しかし、(3)の場合は用いた道具は実際に「バール」や「紐」であることも、バールや紐に似た何か別のものであることも考えられる。さらに、(4)の場合は指し示す「人間」は、実際に「愚かな動物」である可能性が高まると想定される。「～のようなもの」「～みたいなもの」という表現を用いているにもかかわらず、実際にそのものを指し示してしまう現象はなぜ起きるのか。先行研究に触れつつ、

言語と社会の観点から自由に論じなさい。

6. 「多言語能力は個人の財産であるばかりでなく、ひいては地域社会さらにはより大きな国および国際社会にとっての貴重な資源である」という捉え方から、「資産としての外国語」という観点がある(多言語化現象研究会編『多言語社会日本』三元社、2013年、130頁)。多言語環境で育つ/育ったこどもの多言語能力にも言及して、言語能力を資源や資産として見なすことについて、先行研究に触れながら具体例をあげつつ論じなさい。
7. 外国語の読解指導においては、多読と精読をバランスよく組み合わせることが重要だと考えられている。このうち、多読を授業に取り入れるにはどのような方法があるか、教師の立場から、多読の目標、材料、効果の3つを考慮に入れ具体的に述べなさい。
8. インタビューで得た相互行為データを対象に質的研究を行う場合、研究者は「解釈の妥当性」という問題にどのように対処すべきか。ありうる相互行為の抜粋とそれに対する分析等、具体的な事例を示しながら詳細に説明しなさい。

履修分野 III

9. 以下の例文の文法性に基づき、日英語の統語的な違いについて論じなさい(*はその文が非文法的であることを示す)。
 - (1) a. Yesterday's lecture was interesting.
b. 昨日の講義は面白かった。
 - (2) a. *Yesterday's that lecture was interesting.
b. 昨日のその講義は面白かった。
 - (3) a. Taro's teacher's lecture was interesting.
b. 太郎の先生の講義は面白かった。
 - (4) a. *Taro's yesterday's lecture was interesting.
b. 太郎の昨日の講義は面白かった。
10. 伝統的な統計学では、p値と呼ばれる値を算出し、これに基づいて推論を行うことが多かった。しかしながら、このp値にのみ立脚する推論には問題点があることも指摘されている。まず、p値に基づく統計推論がどのようなものなのかについて、わかりやすく具体例をあげながら説明し、次に、その問題点とそのリスクを回避する目的で提案されている指標や考え方を多角的に論じなさい。
11. 次の例において、「空気」という語はそれぞれどのような意味で使われているか、互いの違いがわかるように説明しなさい。また、各用法は相互にどのような関係にあるか、言語学の用語を用いて説明しなさい。
 - (1) a. 宇宙には空気がないといわれる。
b. お父さんは、家では空気だ。
c. 部屋に入ると、張り詰めた空気で会議が行われていた。
12. 次の例が示すように buy と pay は目的語に異なるタイプの名詞句を選択する。この違いを semantic frame の観点から説明しなさい (#はその文が(1a)に対応する解釈では容認されないことを示す。*はその文が非文法的であることを示す。)。
 - (1) a. I bought a house in the city.
b. I paid a house in the city.
c. *I bought a house in the city.
d. *I paid a house in the city.

- (1) a. Mary bought the bag (from the street seller).
b. #Mary bought the street seller.
- (2) a. *Mary paid the bag.
b. Mary paid the street seller for the bag.

問題 B.

受験票に記載した予定履修分野とは関係なく、以下の問題から **1問を選んで**、所定の解答用紙に **日本語もしくは英語** で解答しなさい。

- B 1. 現代社会において、紙媒体の新聞は必要だろうか。18、19世紀以降に大衆メディア化した新聞が社会の中で果たしてきた機能・役割にも言及しながら、論じなさい。
- B 2. 人類の歴史において疫病はどのような芸術作品を生み出してきたか。絵画、文学、音楽などの具体的な作品を複数あげて論じなさい。
- B 3. ある言語について、その話者数や学習者数、文字の特殊性を根拠に「マイナー言語」「メジャー言語」と二項対立的にラベリングすることがある。その行為のイデオロギーと問題点について、先行研究に触れつつ論じなさい。
- B 4. 第二言語学習者の総合的言語能力を測定するテスト方法にクローズテスト (cloze test) がある。このクローズテストを第二言語学習者の読解力測定を目的として用いることのメリットとデメリットは何か、説明しなさい。
- B 5. 近年日本語にも定着してきた複合語の中で、たとえば、「リスクマネジメント (risk management)」や「ステークホルダー (stake holder)」と比べると、「インフォームドコンセント (informed consent)」という表現の意味は、「インフォーム (inform)」と「コンセント (consent)」の意味を知っていても、なかなか理解しにくいものである。その理由を説明しなさい。
- B 6. 次の例における「はやい」は、複数の意味をもつ多義ともとれるし、一つだけの意味 (単義) に還元できるとも考えられる。多義説・単義説それぞれを支持する根拠とその利点・欠点について検討し説明しなさい。
 - (1) a. 足がはやい
b. 手がはやい
c. 耳がはやい
d. 気がはやい
e. 時期がはやい